

## 東灘区会

### 園児と共に「食育」ボランティア

音5 東 藤井 潤子

兵庫県では「食が心と身体をつくる」という観点から子供たち自らが「食」について考える習慣を身につけてもらうことを目的に「食育」を推進しています。

兵庫県神戸農水振興事務所から神戸市立遊喜幼稚園の食育ボランティアの依頼を受け、私たち(東灘区会)は「食育」活動の一環とし

りました。可愛い孫のような園児が小さなバケツにいっぱいの土をオジさん?たちに入れてもらい、両手に持って運ぶ姿が一生懸命でとっても微笑ましく感じました。

園児は約30名の参加です。園長先生はじめ他の先生方も作業です。畝は培養土、バーク堆肥、石灰、

こにまくの?」と言いながら私の手に入れてくれました。

3回目の3月30日は小松菜の間引きとラディッシュの種まき。ラディッシュは間引きの手間を省くため、ポットに1粒ずつまきます。

3号ポットで220鉢。用土は培養土に腐葉土を混ぜたもの。この日は園児は春休み。6月のジャガイモの収穫が楽しみ。

指導者は園芸7期の富永 征児さん。食育ボランティアのメンバーは現在12名です



て野菜作りのボランティアに参加することにしました。

園児と共に畑の畝作りから種まき、植え付け、育成、収穫を行いながら「食育」の一助となればと考えています。

第1回は平成17年2月22日が畑の畝作り。園庭に長さ12m、巾60cm、高さ30cmの畝を1本作

化成肥料等でバッチリです。

2回目の3月9日はジャガイモの植え付けと小松菜の種まき。1つのジャガイモを男女の園児がペアで仲良く植え付けていました。ホント収穫が待ち遠しいといった様子でした。小松菜の種は小さいのですが、手のひらに3粒ほどのせて来て「これど

## 兵庫区会

### JR兵庫駅で観光ボランティア始まる

音2 兵 宮城 智子

今春卒業の9期生を迎えて兵庫パンジーの会員は80名になりました。

親睦を密に、自分に合ったボランティアにも参加し、近くに住んでいる仲間としてお互いに助け合っ

て行こうと今日まで来ました。市の社会福祉からの生活支援や、特養と利用者の橋渡し役であるサポーターへの依頼にも多くの方々が参加して下さいます。

またこの度は、兵庫区役所まちづくり推進課の依頼でJR兵庫駅構内での観光ボランティアが3月

下旬より始まり、毎日曜日の午前10時~12時まで、改札口の正面で兵庫区内の観光地などのPRをしています。見かけられましたらどうぞお声をかけ下さい。

会員も年々加齢して行く中で、9期生の新しい仲間も加わって、1日でも長くみんなが、笑顔で動けるようにと願っています。無理をしないで楽しく仲間づくりをしようとするのが、兵庫パンジーの会です。皆さんよろしくお願ひします。

